



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名 月島機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6332 URL <https://www.tsk-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福沢 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部財務部長 (氏名) 藤田 陽一 (TEL) (03) 5560-6521
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,159	△12.2	864	△69.5	1,250	△61.9	275	△88.1
2020年3月期第3四半期	60,519	8.9	2,832	22.2	3,278	22.7	2,307	74.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,783百万円(69.8%) 2020年3月期第3四半期 1,639百万円(563.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	6.33	—
2020年3月期第3四半期	52.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	141,668	69,405	48.1
2020年3月期	128,340	67,356	51.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 68,102百万円 2020年3月期 66,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	△5.3	5,500	△31.7	5,800	△31.4	3,600	△36.8	82.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付9ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	45,625,800株	2020年3月期	45,625,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,037,531株	2020年3月期	2,336,766株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	43,435,670株	2020年3月期3Q	43,860,590株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 12
3. 補足情報	P. 13
受注、売上及び受注残高の状況	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く市場環境は、国内においては米中貿易摩擦に加え新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界経済が急速に悪化し、先行きが不透明な状況が続いております。海外においても、感染拡大が続く経済活動の停滞および長期化に対する懸念から、世界経済の減速リスクを注視する必要があります。

このような環境の下で当社グループは、持続的な成長を目指すために「経営基盤の強化」と「成長戦略の推進」を基本方針とした中期経営計画(2019年4月～2022年3月)を推進し、事業活動を展開しております。

水環境事業においては、上下水道設備の増設・更新需要の取り込みや、設備の維持管理業務、補修工事等の営業活動を展開してまいりました。また、省エネルギー技術の営業活動を推進するとともに、水インフラを安定的に維持・運営していくために設備の建設と長期の維持管理業務が一体となったPFI(*1)、DBO事業(*2)や、包括O&M業務(*3)、FIT(*4)を活用した発電関連分野への営業展開を進めてまいりました。

一方、産業事業においては、プラント・単体機器および廃液、固形物廃棄物処理などの環境関連設備の営業活動を展開してまいりました。また、今後成長が見込まれる二次電池製造関連設備の営業活動を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

受注高は669億83百万円(前年同期比66億16百万円の増加)、売上高は531億59百万円(前年同期比73億60百万円の減収)となりました。また、損益面につきましては、営業利益は8億64百万円(前年同期比19億67百万円の減益)、経常利益は12億50百万円(前年同期比20億27百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億75百万円(前年同期比20億32百万円の減益)となりました。

*1：PFI (Private Finance Initiative)

施設整備を伴う公共サービスにおいて、民間の有する資金、技術、効率的な運用ノウハウなどを活用する仕組み

*2：DBO (Design Build Operate) 事業

事業会社に施設の設計 (Design)、建設 (Build)、運営 (Operate) を一括して委ね、施設の保有と資金の調達行政が行う方式

*3：包括O&M業務

設備の運転管理業務だけでなく、設備の補修工事や薬品等の供給も含めた包括的な維持管理業務

*4：FIT (Feed-in Tariff)

再生可能エネルギーを用いて発電された電気を、一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けた制度 (固定価格買取制度)

当社グループは、上下水道設備を主要マーケットとする水環境事業と、化学、鉄鋼、食品等の産業用設備および廃液・固形廃棄物処理や環境関連設備を主要マーケットとする産業事業の2つを主たる事業と位置付けており、それら以外の事業をその他としておりますが、その主要な事業内容は以下のとおりであります。

事業区分	主要な事業内容
水環境事業	1) 浄水場・下水処理場等プラントの設計・建設 2) 上記プラントに使用される脱水機、乾燥機、焼却炉等各種単体機器の設計・製造・販売 3) 浄水場・下水処理場におけるPFI、DBOなどのPPP事業、下水処理場における消化ガス発電事業 4) 浄水場・下水処理場設備の運転・維持管理・補修およびこれらに付随する業務 5) 一般・産業廃棄物処理事業
産業事業	1) 化学、鉄鋼、食品および廃液・固形廃棄物処理、二次電池製造関連設備等のプラントの設計、建設・補修工事 2) 上記プラントに使用される晶析装置、ろ過器、遠心分離機、乾燥機、ガスホルダ、酸回収装置、攪拌機等の各種単体機器の設計・製造・販売
その他	1) 大型図面・各種書類等の印刷・製本 2) 事務所ビル・駐車場等の不動産管理・賃貸

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より買収したプライミクスホールディングス株式会社およびその子会社2社を連結範囲に加えております。

また、第1四半期連結会計期間より一般・産業廃棄物処理事業を水環境事業へセグメント区分の変更を行っており、前年同四半期の数値は、セグメント変更後の数値で比較しております。

(水環境事業)

水環境事業においては、国内の水インフラ関連投資は比較的堅調に推移しておりました。また、複数年および包括O&M業務や設備建設と長期の維持管理業務を一体化したPFI、DBO事業等の発注は増加する傾向にありました。

このような状況の下で当社グループは、国内外の上下水道用汚泥処理設備の増設・更新需要を取り込むために、下水処理場向け汚泥有効利用設備、浄水処理場向け排水処理設備の営業活動を推進してまいりました。また、メンテナンスなどのアフターサービス事業をより一層強化するために、包括O&M業務や補修工事の営業活動を展開することで、受注高の確保を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における水環境事業の受注高は401億33百万円(前年同期比61億59百万円の増加)となり、売上高は292億43百万円(前年同期比32億84百万円の減収)となりました。営業利益は11億58百万円(前年同期比6億17百万円の減益)となりました。

(産業事業)

産業事業においては、国内では米中貿易摩擦により外需が低迷していることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が抑制されていることから、先行きが不透明な状況になっております。海外では、同様の影響が企業業績を圧迫していることから、世界経済の減速リスクに留意する必要があります。

このような状況の下で当社グループは、化学、鉄鋼、食品分野における設備投資需要や更新需要を取り込むために、国内外における各種プラント設備および乾燥機、分離機、ろ過機、ガスホルダ、攪拌機等の単体機器の営業活動を展開してまいりました。また、環境関連においては、国内外向けに廃液燃焼システム、固形廃棄物焼却設備、排ガス処理設備および二次電池製造関連設備の営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における産業事業の受注高は267億94百万円(前年同期比4億57百万円の増加)となり、売上高は238億58百万円(前年同期比40億76百万円の減収)となりました。営業損失は3億6百万円(前年同期比13億20百万円の減益)となりました。

(その他)

その他においては、当第3四半期連結累計期間における受注高は56百万円(前年同期比0百万円の減少)となり、売上高は56百万円(前年同期比0百万円の減収)となりました。営業利益は13百万円(前年同期比29百万円の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,416億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ133億27百万円増加しました。これは主に、プライミクス株式会社を連結範囲に含めたこと等による有形固定資産の増加62億28百万円、のれんの増加38億31百万円や株式時価評価に伴う投資有価証券の増加27億11百万円があったこと等によるものです。

負債合計は722億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億78百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の支払いによる減少63億72百万円等があったものの、当社において買収資金および設備投資資金を金融機関より借入れたこと等により、1年内返済予定の長期借入金22億57百万円増加、長期借入金121億86百万円増加があったこと等によるものです。

純資産合計は694億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億48百万円増加しました。これは主に、株式時価評価によりその他有価証券評価差額金が23億46百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました2021年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,022	28,742
受取手形及び売掛金	41,653	27,537
電子記録債権	3,607	2,473
有価証券	11	217
仕掛品	5,636	12,572
原材料及び貯蔵品	472	500
その他	1,971	3,913
貸倒引当金	△186	△122
流動資産合計	76,189	75,836
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,713	12,754
その他（純額）	21,956	27,144
有形固定資産合計	33,670	39,899
無形固定資産		
のれん	184	4,016
その他	715	630
無形固定資産合計	899	4,646
投資その他の資産		
投資有価証券	14,243	16,954
その他	4,202	5,198
貸倒引当金	△864	△868
投資その他の資産合計	17,581	21,285
固定資産合計	52,151	65,830
繰延資産	—	1
資産合計	128,340	141,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,745	9,372
電子記録債務	5,693	5,142
短期借入金	122	50
1年内返済予定の長期借入金	766	3,023
未払法人税等	754	657
前受金	7,377	11,128
賞与引当金	2,444	1,137
完成工事補償引当金	943	834
工事損失引当金	528	501
解体撤去引当金	592	268
その他	6,119	5,872
流動負債合計	41,087	37,988
固定負債		
社債	5,000	5,220
長期借入金	6,808	18,995
役員退職慰労引当金	281	754
退職給付に係る負債	5,426	5,832
その他	2,380	3,471
固定負債合計	19,896	34,273
負債合計	60,983	72,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,646	6,646
資本剰余金	5,537	5,569
利益剰余金	56,536	55,714
自己株式	△2,145	△1,801
株主資本合計	66,575	66,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	3,536
繰延ヘッジ損益	△3	13
為替換算調整勘定	△347	△424
退職給付に係る調整累計額	△1,344	△1,151
その他の包括利益累計額合計	△505	1,973
非支配株主持分	1,286	1,303
純資産合計	67,356	69,405
負債純資産合計	128,340	141,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	60,519	53,159
売上原価	48,612	41,370
売上総利益	11,907	11,788
販売費及び一般管理費		
見積設計費	820	1,030
役員報酬及び従業員給与・諸手当・賞与・福利費	3,779	4,396
貸倒引当金繰入額	3	1
賞与引当金繰入額	228	307
退職給付費用	224	218
役員退職慰労引当金繰入額	38	56
その他	3,980	4,913
販売費及び一般管理費合計	9,075	10,923
営業利益	2,832	864
営業外収益		
受取利息	63	56
受取配当金	412	364
持分法による投資利益	41	57
貸倒引当金戻入額	54	80
その他	34	118
営業外収益合計	606	677
営業外費用		
支払利息	61	114
アレンジメントフィー	—	52
その他	98	125
営業外費用合計	160	292
経常利益	3,278	1,250
特別利益		
補助金収入	—	110
子会社清算益	—	73
投資有価証券売却益	1,819	29
その他	26	6
特別利益合計	1,846	219
特別損失		
解体撤去引当金繰入額	1,122	433
独占禁止法等関連損失	269	—
固定資産除売却損	12	61
投資有価証券評価損	—	197
その他	—	0
特別損失合計	1,404	692
税金等調整前四半期純利益	3,720	778
法人税等	1,245	393
四半期純利益	2,475	384
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,307	275

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,475	384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,058	2,346
繰延ヘッジ損益	14	16
為替換算調整勘定	15	△157
退職給付に係る調整額	191	193
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	△835	2,399
四半期包括利益	1,639	2,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,438	2,754
非支配株主に係る四半期包括利益	201	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、株式取得によりプライミクスホールディングス株式会社を子会社化したことに伴い、同社および同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(固定資産の売却および特別利益の計上について)

2019年2月27日に公表しましたとおり、当社市川工場閉鎖後の跡地において三井不動産株式会社と共同で物流施設を開発することに伴い、土地を信託受益権化し、2019年3月期および2022年3月期（物流施設の竣工時）の2度にわたり、その権利の一部を売却いたします。

当該固定資産（信託受益権）の売却に伴う売却益につきましては、2019年3月期において27億円を「固定資産売却益」として特別利益に計上しております。2022年3月期においては約53億円を「固定資産売却益」として特別利益に計上する予定です。

- (1) 売却先 三井不動産株式会社
- (2) 売却対象の土地 千葉県市川市塩浜
- (3) 土地面積 82,616㎡
- (4) 売却後の用途 物流施設

なお、売却額および売却対象の面積については、売却先との守秘義務および要請により公表を控えさせていただきます。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（2020年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積について)

重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水環境事業	産業事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,528	27,935	60,463	56	60,519	—	60,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	2,498	2,536	220	2,757	△2,757	—
計	32,566	30,433	62,999	277	63,277	△2,757	60,519
セグメント利益	1,775	1,014	2,790	42	2,832	—	2,832

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷・製本、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水環境事業	産業事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,243	23,858	53,102	56	53,159	—	53,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	1,997	1,999	168	2,167	△2,167	—
計	29,246	25,856	55,102	224	55,326	△2,167	53,159
セグメント利益又は損失(△)	1,158	△306	851	13	864	—	864

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷・製本、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

産業事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間よりプライミクスホールディングス株式会社の全持分を取得したことに伴い同社および連結範囲に含めた同社子会社2社ののれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの発生額は、4,175百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された額であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、従来、産業事業に含めていた「一般・産業廃棄物処理事業」を水環境事業へセグメント区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

[関連情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	計
52,889	6,137	1,492	60,519

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	計
43,630	5,045	4,482	53,159

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注、売上及び受注残高の状況

① 受注実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	比較増減	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)
水環境事業	33,973	40,133	6,159	18.1
産業事業	26,336	26,794	457	1.7
小計	60,310	66,927	6,616	11.0
その他	56	56	△0	△0.6
合計	60,366	66,983	6,616	11.0
内 海外受注高	8,755	5,638	△3,117	△35.6
海外の割合(%)	14.5	8.4	—	—

② 売上実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	比較増減	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)
水環境事業	32,528	29,243	△3,284	△10.1
産業事業	27,935	23,858	△4,076	△14.6
小計	60,463	53,102	△7,360	△12.2
その他	56	56	△0	△0.6
合計	60,519	53,159	△7,360	△12.2
内 海外売上高	7,630	9,528	1,897	24.9
海外の割合(%)	12.6	17.9	—	—

③ 受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	比較増減	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)
水環境事業	88,465	87,943	△522	△0.6
産業事業	38,017	33,681	△4,335	△11.4
小計	126,482	121,624	△4,858	△3.8
その他	—	—	—	—
合計	126,482	121,624	△4,858	△3.8
内 海外受注残高	12,384	8,906	△3,478	△28.1
海外の割合(%)	9.8	7.3	—	—